

海外所在の日本歴史資料について (II)

埜

叡

はじめに

前号に引き続き、アメリカ・カナダをはじめ中・南米諸国、アフリカ、オーストラリア、ソビエト所在の資料をとりあげる。また文末に前回の補遺、最近の動向もつけ加えた。

B. アメリカ

(1) イリノイ大学東洋図書館 University of Illinois, Far Eastern Library, Urbana
御伽草子の手写本として、『熊野本地』、『しぐれ』、『釈迦一代記』、『蓬萊』各1冊ずつを所蔵している。(奈良絵本国際研究会編『御伽草子の世界』p. 265)

(2) インディアナ大学図書館

キリシタン版の『ぎや・ど・ぺかどる、1599、長崎刊がある。ただし上巻のみである。また同大学の美術館には、『源氏物語絵巻』がある。

(3) ウースター美術館

十一面観音立像がある。

(4) エール大学

(イ) スターリング記念図表館

ペリー艦隊主席通訳官であったウィリアムズ関係のものとして、自筆書簡、ペリー自筆書簡、米・琉球・幕府間の外交文書、吉田松陰密書を所蔵する。(山口栄鉄『異国と琉球』p. 104)
朝河貫一博士未刊自筆稿本は英文・和文ノート、日記、書簡、来客簿から成る。文化人類学地域研究資料保存部に琉球の部タイプ稿本ファイルがある。また米国東洋学会事務局研究室にはベッテルハイム自筆書簡、フランクリン研究室にはブロートン『北太平洋航海踏査録』がある。

(ロ) 医学部付属図書館歴史文献部

モリソン関係ピーター・パーカー自筆日誌稿本『日本渡航』(1837)がある。

(ハ) 神学部付属図書館

ブル・コレクションは琉球宣教師関係図書のマイクロフィルムである。さらにベッテルハイム、ジョージ・スミス、ギュッツラス琉球宣教師関係典籍ならびに肖像がある。

(ニ) バイネキー図書館 The Beinocke Rare Book and Manuscript Library

『パーチャス巡歴録集成』(1625), 『フェルナンド・ピント航海巡歴録』(1653), 『英国使節中国行実録』(1797)のほか、フェノロサ関係資料として、謡曲・漢詩に関するノートと訳稿がある。

(ホ) 付属美術館 (ニューヘブン)

室町時代の絹本墨画『岩上鶴鴿図』がある。(『在外日本の至宝 3 水墨画』p. 117, 図 13)

(ヘ) 図書館

シーボルトの『日本』やフェノロサ『社会学講義・筆記ノート』がある。(秋山ひさ「東京大学におけるフェノロサの社会学講義」『LOTUS』第1号, 日本フェノロサ学会, 1981)

(5) ウィリアム・ジュウェル・カレッジ William Jewell College, ミズーリ州リバティ

ペリー艦隊の水兵ゴープルの1854, 2.22~9.11にわたる航海日記 'Journal of Jonatham Goble of Mississippi' がある。

(6) 海軍兵学校博物館

ペリーの全権委任状をはじめ、サーベル・軍帽・印章や銀板写真がある。ミシシッピー号書記の『スパイデン日記』には横浜応接所(1854 当時)が画かれている。

(7) 海軍歴史センター (ワシントン)

いわゆるオレンジ計画を示す 'Basic War Plans' の原本を所蔵する。

(8) カウアイ博物館 Kauai Museum, ハワイ

セオドア・ウオレス Theodore Wores の『お菓子屋 (明 26, 横浜) がある。

- (9) ガードナ・A・セイジ図書館 The Gardner, A, Sage Library of the New Brunswick Theological Seminary of the Reformed Church, New Jersey

明治期のお雇い外国人フルベッキのコレクションがある。Brief Sketch (1869.6.11=明 2.5.2) や大隈重信あて書簡などがある。(Altman: Guido Verbeck and the Iwakura Embassy, Japan Quarterly, vol. XIII, no. 1, January-March, 1966) なお梅溪昇『お雇い外国人 11 政治法則』付録 1 を参照されたい。

- (10) 議会図書館 Library of Congress, Washington, D. C.

(イ) 『契利斯督記』……太田南畝自筆転写本で上下 2 巻から成る。(海老沢有道『南蛮学統の研究』増補版, p. 18)

(ロ) 『対治邪執論』……これは岩波書店の『キリシタン書・排邪書』(『日本思想大系 25』) にのせる。

(ハ) 『聚分韻略』……慶長 17 年刊の大内版である。(奥村三雄『聚分韻略の研究』)

(ニ) 奈良絵本……『そが物語』, 『静の草紙』, 『ほうみょう童子』がある。

(ホ) 唐詩訓解……1618 年の明刊本で, 荻生徂徠の旧蔵本で, 書入れがみられる。

(ヘ) 文化 7 年刊の『訳鍵』と堀達之助編の『改正増補英和对訳袖珍辞書』(慶応 3 年)がある。(豊田実『日本英学史の研究』p. 30~39)

(ト) 俳書……3549 部で, 『国書総目録』にも見えないものがある。(小西甚一『日本文芸史』第 5 巻)

(チ) 初代中村仲蔵の『歌舞 伎姿見』は式亭三馬旧蔵である。

(リ) Pre-Meiji Works in the Library of Congress: Japanese Mathematics は Japanese Section 編である。

上記 (ハ) (ホ) (ト) (チ) (リ) については, 小西甚一「アメリカで見つけた日本の珍書」(『文藝春秋』1988, 3 月号, p. 282~288) を参照された

い。

(付) 議会図書館所蔵文書およびエール大学図書館のケプロン家文書については, 東大史料編纂所の『日本関係海外史料目録』にゆずる。

(11) カリフォルニア銀行(サンフランシスコ) 明治政府の『預金証書』があるのがめずらしい。

(12) ガンサー家

キリシタン版の『ひですの経』は 1611 年長崎で刊行され, 国字で書かれている。

(13) ギャレット家 (ボルチモア)

印籠・根付のコレクションが 240 点あり, これらは東京築地のカタオカ・マサユキより 4 代目ジョン・W・ギャレットが購入したという。(大野泰子「根付」——『目の眼』1988, 1 月号, p. 20~)

(14) グルーバー家

本間屏風といわれる『洛中洛外図屏風』がある。

(15) カリフォルニア大学

(イ) 東アジア図書館 (バークレー分校)

浅見倫太郎 蒐集の朝鮮本から成る浅見文庫がある。(神田信夫「浅見文庫本『備辺司関録』」, 『駿台史学 99 号, 昭 41.9 月, p. 127~)

旧三井文庫については, ライフサイエンスビル (6 階) や, リッチモンド保存図書館にも多数の写本が分蔵されている。ロジャー・シャーマン「The Acquisition of the Mitsui Collection by The East Asiatic Library, University of California, Berkeley」があり, 渡辺守邦「カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫調査の報告」(『文学』1984. 8, vol. 52) もある。また当館所蔵の近世刊本地図については矢守一彦の目録作製が進行中と聞く。

(ロ) サンフランシスコ校メディカルセンター図書館

日本医学史関係コレクションが存在する。すなわち, 伊東玄朴の増田忠八郎・千住大之助・本島藤太夫あて書間 (安政 4 年か) や, 長与専斎の加藤尚志あて明治 29 年 3 月 14 日書翰がある。(洒井シヅ「カリフォルニア大学所蔵の書翰二通」『学鑑』1982 年, 9 月, p. 32~) 杉田玄白著, 熊谷元章画『解体約図』は 1 枚刷 5 葉, 一組である。

(ハ) ロサンゼルス分校 (UCLA)

ヒュースケン画く『下田奉行所における会談の図』、『下田玉泉寺居室』や、作者不詳でハリスー一行を画いた『米国官吏江府行装之図』がある。ニューヨーク・グリニッジの新井家旧蔵の『新井領一郎家文書』も所蔵する。(福永郁雄「日米貿易維新の血燃ゆ」『日本経済新聞』1985.1.21)

(16) コネティカット歴史協会

開拓使にやとわれた H. S. Monroe の文書がある。

(17) コロンビア大学

(イ) ロ承史研究所 (ニューヨーク)

ロウジャー・ボールドウィンの『日本回想録』とビート・ゴードン夫人の『聞書』は、日本占領関係資料である。

(ロ) 東洋図書館 (ニューヨーク)

御伽草子の『浦島』1巻と『浦島太郎』2冊を所蔵する。(前掲(1)の『御伽草子の世界』p. 265)

(18) サンフランシスコ・アジア美術館

(イ) 『北野天神縁起』(鎌倉時代)1幅と『八幡縁起』1巻(鎌倉)がある。

(ロ) 伝狩野宗秀筆『韃靼人狩獵・打毬図屏風』がある。(鈴木広之「騎射と狩一韃靼人狩獵図をめぐって」『国華』第千七十七号, p. 13~)

(ハ) ブランデー・コレクション……東洋美術のうち、屏風絵8点の里帰り展が1987年12月に福井県立美術館で開かれた。(『芸術新潮』1988年1月号, p. 84~87)

(ニ) 岩佐又兵衛の落款のある『王昭君図』がある。(辻惟雄『岩佐又兵衛』『日本の美術 259』, 至文堂, 第42図)

(19) シカゴ荣誉館 (国際外科学会日本室)

立石清美画く華岡青洲の『通仙散薬効試験の図』を所蔵する。

(20) シカゴ美術館 The Art Institute of Chicago

『浄瑠璃物語』2巻など1000種の中国・日本の絵本・絵入り本から成るライアーソン・コレクションがある。

(21) シカゴ美術研究所

写楽の扇面絵版画でさる『お多福の豆撒き図』がある。

(22) シェンソン・コレクション (サンフランシスコ)

明治18年と25年に来日したセオドア・ウオレス Theodore Wores の絵画を所蔵している。1961年5月9日~16日、日本橋東急で里帰り展があった。(『同展図録』参照) 一例をあげれば、亀戸天神・たいこ橋・山王日枝神社・野毛山の桜・杉田の早春・鎌倉風景・伊香保風景・金閣寺の庭・芝居小屋・日本の女などを画いたものである。

(23) ジョージ・イーストマンハウス国際写真美術館

下田玉泉寺墓地の銀板写真は現存最古の風景写真といわれる。(『毎日新聞』1986.1.11の記事による)

(24) ジョージ・M・ブルック家(レキシントン)

アメリカ海軍測量船の船長ジョン・M・ブルック大尉は成臨丸に同乗した。『成臨丸航海日記』を孫にあたるジョージ・ブルック氏が保存している。

(25) ジョーンズ・ホプキンス大学 (ボルチモア) Johns Hopkins University

(イ) Milton Haight 関係資料

1888.1.23~1892.8.30 来日し、札幌農学校で数学を教えた人物である。(渡辺正雄「M・ヘイトー W・S・クラークの脇役(5)」『科学史研究 115』, 1975秋, p. 128~)

(ロ) ギャレット・コレクション

付属美術館に150点の江戸時代印籠を所蔵する。ジョン・W・ギャレットは明治25年来日している。(桐島敬子「ボルチモアの印籠コレクション」『目の眼』1987, 10月号, p. 120~121)

(26) シラキュース大学図書館

英国海軍琉球伝道協会文書(クリフォード編, 1846~)から成る琉球コレクションがある。またジョセフ彦の遺品・草稿が残され、例えば「オールド・ジャパン」, 「国体」(1865), それにスクラップブックなどがある。

(27) 心遠館

鈴木其一の『紅葉図』, 『柳に白鷺図』があり、伊藤若冲の作品もある。1985年8月、里帰り展が京都国立博物館であったというが見学の機会がなかった。

(28) スタンフォード大学

フーヴァ研究所に「外務大臣大隈重信ヨリ駐韓公使加藤増雄宛『韓国新聞通商港ニ於ケル日本居留地選定ニ関スル件』明 31.10.1」を含む旧京城日本公使館文書がある。

(29) スミソニアン自然史博物館(ワシントン)

うるしぬりおわん, うちわ, 神棚, 大黒天, まごの手などペリー将来品が 300 点以上ある。

(29) ダートマス大学 (ニューハンプシャー州ハノーバー)

朝河貫一関係資料として, タッカー氏あて書簡, 著作, 論文がある。学長室にはポーツマス会議に用いられたテーブルが保存されている。(阿部善雄「ポーツマス会議のテーブル」『日本歴史』1985, 7月号(446号) p. 35)

(30) デイトン美術館

友雪の『職人尽絵』がある。

(31) デトロイト市立図書館

日本占領政策に関するドッジ文書がある。

(32) デンバー美術館

中世小説『磯崎物語』二巻(桃山時代)を所蔵している。

(33) ドゥ・ヤング博物館(サンフランシスコ)

東洋美術のブランデージコレクションがある。竜杏の『四季山水図屏風』, 呉春の『山樵漁夫図屏風』, 栄之の『美人図』などである。

(34) ドラッカー・コレクション(カリフォルニア・クレアモント)

室町水墨画, 文人画, 近世漢画, 琳派, 仏画, 大和絵など 200 余点で, 山荘コレクションともいわれる。(『ドラッカーコレクション水墨画名作展図録』, 1986. 12 月根津美術館で開催)

(35) トレド美術館

奥村政信の『十二ヶ月風俗絵巻』をはじめ, 神社建物 3, 甲冑 306, 青銅器 14, 七宝 8, 象牙 3, 漆器 14, 根付 46, 絵画 73, 磁器 26, 陶器 15, 版画 3, 彫刻 4, 衣裳 2 (計 517 点) がある。(瀬木慎一「海を渡った日本の文化財」『別冊歴史読本見る! 歩く! 歴史博物館のすべて』1988.1 月, p. 118)

(36) ニューブラウンズウィック神学校, ガー

ドナー・A・セイジ図書館(ニュージャージー州)

フルベッキ書簡(高谷道男編訳『フルベッキ書翰集』新教出版社), フルベッキ建言書(欧米遣外使節団プランー明 2.5.2)を含む『ブリーフ・スケッチ』(梅溪昇『お雇い外国人政治法制』), 米国改革派教会日本伝道資料(フェリス女学院資料室『あゆみ』1978, 2 号, p. 23-31)がある。

(37) ニューヨーク公立図書館 Public Library

スペンサー・コレクションで知られる。『文正草子』(1 冊), 『松風村雨物語』1 巻, 『西行物語』3 冊など多数である。反町茂雄『スペンサーコレクション蔵日本絵入本及絵本目録』が作られている。また『蘭船唐船図巻』もある。(大庭脩『江戸時代における中国文化受容の研究』図版 8) 1987.2.10~3.22 に里帰り展が赤坂サントリー美術館であった。(『物語絵 Tales of Japan 図録』)

(38) ネルソンギャラリー(アトキンス美術館)

伝狩野元信の『山水図』はメトロポリタン美術館と分蔵している。また『明正帝即位図屏風』がある。(六曲一双)(別冊太陽『天皇一二四代』平凡社, 1988, 7 月号, 付録)

(39) Naval Historical Foundation(ワシントン)

ミシシッピー号主計官付書記の日誌 Journal of William F. Speiden(1852.3.9~1855.2.16, 2 巻)がある。(横浜開港資料館『ペリー来航関係資料図録』p. 36~37)

(40) バークコレクション(ニューヨーク)

『熊野の本地』1 冊, 『洛中洛外図屏風(バーク本 A, バーク本 B がある)』, 『秋月物語』9 冊がある。メトロポリタン美術館のコレクション展(1975)については『国華』868 号を参照されたい。

1985.5.21~6.30 に上野国立博物館で里帰り展があった。(『ニューヨーク・バークコレクション日本美術名品展図録』)

(41) ハーバード大学

(イ) 嚙京(エンチン)図書館

箱館戦争のさいの内藤清孝『蝦夷事情乗風日誌』がある。

(ロ) 法学部図書館

刊本 84 を含む 336 部の書物, 手書き本 2300 余

冊がある。(ジェイムズ・カンダ「ハーバード大学法学部所蔵の日本文献」『古文書研究』第11号, 1977.11, p.91~101)

(ハ) ホウトン図書館 The Houghton Library
フェノロサ資料で知られる。(村形明子「フェノロサの宝物調査と帝国博物館の構想——ハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵遺稿を中心に」上, 下, Museum 347, 348号), 同氏「フェノロサの京都十一箇寺什宝調査メモーハーヴァード大学ホートン・ライブラリー蔵遺稿より」『人文』26, 昭55)

(42) ハワイ大学

(イ) 東西文化センター

沖縄関係資料がある。

(ロ) ハミルトン大学院図書館 Hamilton Graduate School Library

アジアコレクションの中に坂巻駿三蒐集の薩摩琉球史料(サカマキコレクション)がある。(『西南地域史研究』第四輯 p.390~)

(ハ) ホーレイ文庫

フランク・ホーレイ・コレクションで, 中国・琉球関係資料である。『琉球中山王両使者登場行列』2巻(宝永七年十一月十八日)をはじめ, 逸品が多い。なお和紙関係のものは天理図書館の所蔵となっている。(反町茂雄編『フランクホーレイ氏蒐集和紙関係文献目録』昭36)

(43) ピーター・モースコレクション(ホノルル)

北斎コレクションで知られ, 『手紙を取り合う親子』など250種, 400点に達する。1988年4月から5月にかけて太田記念美術館で展示された。(『初公開葛飾北斎展ピーター・モースコレクション図録』)

(44) ピーボディー博物館 Peabody Museum of Salem (ボストン郊外)

(イ) 作者不詳の『米国官吏江府行装之図』がある。

(ロ) 1800年(寛政12)長崎を訪問したマサチューセッツ号の『ウィリアム・クリーヴランド日記』がある。(『NHK歴史ドキュメント』⑤ p.94~96)

(ハ) エドワード・モースコレクション

明治期の写真, 江戸時代の陶器・看板・民具などのおびただしい量のコレクションである。明治初期のびんに入ったこんぺいとうや, かんに入ったのりなどには驚かされる。小学館から『百年前の日本』(写真編), 『モースのみた日本』(日本民具編), さらに共同研究の『モースと日本』(守屋毅編)が刊行されている。

(44) フィラデルフィア・フリー図書館 Free Library of Philadelphia

『保元物語』(6冊), 平治物語(3冊), 『文正草子』(3冊)を所蔵する。

(45) フェアヘブン役場

ジョン・万次郎の写真がある。

(46) フォッグ美術館 Fogg Art Museum, Cambridge

ハーバード大学の付属美術館である当館には, 中国青銅器のユーモルフォポロス・コレクションをはじめ, 『正倉院文書写経所断簡』(大山みどり「正倉院文書断簡について」『史迹と美術』51-4)がある。パワーズ・コレクションは瓦経, 文殊菩薩画像, 天遊松谿の『山水図』, 『宗達下絵光悦書蓮和歌巻』, それに蕭白の『富士三保松原図屏風』などがある。(別冊太陽『海外へ流出した秘宝』1977冬)その他寄託品として, 『橋立の本地』2巻, 『かざしの姫』1巻, 『貴船の本地』3巻, 『菊の精物語』1巻などがある。

(47) フォートワース美術館(テキサス)

ジョー・プライスコレクションを所有する。

(48) フリーア美術館 Freer Gallery of Art
『鶴草紙』(3冊, 横本)と『描白うたゝね草紙』(下巻, 桃山時代)がある。

(49) プリンストン大学美術館 Princeton University Art Museum

『つるの草紙』(3冊)がある。

(50) ブルックリン美術館(ニューヨーク)

『桜狩遊楽図屏風』(寛永)の右隻のみがある。左隻は岸田劉生旧蔵で, 矢幡陽太郎氏が所蔵している。

(51) ヘッドフォード捕鯨博物館

ジョン・万次郎の乗った, ホイットフィールド

を船長とするジョン・ホーランド号の油絵がある。

(52) ボストン美術館

W・S・ビゲローのコレクションの中から北斎の版本が多数発見され、527 枚は里帰りして、その版本から新しく摺った狂歌絵本、さらにビゲローの発見された書簡 (1889.3.1) など話題を呼んだ。 (『ボストンで見つかった北斎展図録』1987.1.15~2.8, たばこと塩の博物館) さらに北斎の『鳳凰図屏風』が地下倉庫からイタリア人ジアン・カルロ・カルザ氏によって発見されている。 (『朝日新聞』1987. 11. 20 夕刊の記事による)

(53) ホノルル美術館

東寺旧蔵の十二天面のうち、ヒノキ造りの羅刹天と月天 (がってん) がある。なお七面は京都国立博物館にある。

(54) マサチューセッツ州立大学アマースト校
明治5年来日した地質学者ベンジャミン・スミス・ライマンのコレクションがある。書籍258冊、写真300点から成る。 (『毎日新聞』1988. 1. 5 夕刊の記事による)

(55) マッカーサー記念館 (バージニア州ノーフォーク)

(イ) 戦犯資料……1945.9.21 ワシントン秘密指令 WX 67394 号

(ロ) ホイットニー『メモランダム』……山下奉文事件の裁判記録など。

(ハ) ウィロビー報告書……1946

(ニ) 警察予備隊に関する覚書

(袖井林二郎『マッカーサーの二千年』)

また天皇の人間宣言 (1946.1.1) に関する G.H. Q 教育課長 H.C. アンダーソンの報告書もある。

(56) ミシガン大学

ハッシー文書がある。 (1945.10.10 アチソンメモ)

(前掲袖井, p. 160~161)

(57) ミネアポリス美術館

雪村周継の『花鳥図』(六曲一双, 紙本墨画) がある。 (『在外日本の至宝』3, 水墨画, p. 149, 92~94 図)

(58) メトロポリタン美術館

(イ) ハリー・パッカードコレクション……光

琳の二双屏風 (Bamboo and Pine) などがある。

1987 年 4 月に「日本ギャラリー」が開設された。 (『芸術新潮』1987, 7 月号特集) 豊後富貴寺須弥壇 (モデル), 三井寺勸学院書院 (再現), イサム・ノグチの庭などが主なものであるが、詳細は『メトロポリタン美術全集 11 東洋 (福武書店) を参照されたい。また伊達政宗着用といわれる『色々威胴丸広袖付鎧』も発見されている。

(59) メリーランド大学マッケルディン図書館
アジア資料館

ゴートン・プラング Prange 氏寄贈の米軍占領下資料雑誌類がある。単行本数万点、新聞・雑誌各1万点、外電通信文などから成る。 (松浦総三『占領下の言論弾圧』現代ジャーナリズム出版会)

(60) モービル市立博物館 (アラバマ州)

フェノロサ旧蔵の絵画・彫刻・陶磁器がある。

(イ) フェノロサ・ルーム……浮世絵、ブロンズ釈迦如来坐像 (鎌倉末期) がある。

(ロ) 資料室……近世画家の画帖がある。芦雪・竹洞・狙仙・岸岱・景文・清暉などである。 (山口静一『フェノロサ』下, p. 374)

(61) ラトガース大学

(イ) ウェイリー文庫……'The Nō Play of Japan' の著作もある Waley の資料がある。 (Francis. A. Johons: A Bibliography of Author Waley, Rutgers Univ. Press)

(ロ) アレキサンダー図書館 (ニュージャージー州ニューブルンスウィック)

グリフィスのコレクションで知られている。R・H・ブラント草稿がある。 (徳力英太郎訳『お層い外人の見た近代日本』講談社学術文庫)

(62) レオベック学院 (ニューヨーク)

モッセの書簡330通 (1600 ページ) を所蔵する。東大法学部にマイクロフィルムがある。

(63) 国立記録保存所 (連邦記録保管センター)
シベリア出兵やマニラの山下、本間軍事裁判のフィルム、チャーチル、ルーズベルト、スターリン・ヒトラーなどのネガを保存している。

(64) ロサンゼルス・カウンティ (郡) 美術館
オクラホマの富豪ジョー・ブライス氏のコレクションは若沖・芦雪・広挙・抱一らの日本画から

成る。

(65) ロサンゼルス美術館

師宣の『隅田川夕涼み図』, 辰女の『美人図』がある。

(66) ロックフェラー大学図書館

「ノグチペーパー」は野口英世関係資料である。(中山茂『野口英世』, p. 263)

(67) ロンギ・イースタンファインアート (ニューヨーク)

Leighton, R. Longhi 氏のコレクションで『土佐派源氏物語図屏風』がある。(『豪華「源氏絵」の世界源氏物語』学研)

(68) Washington National Records Center (メリーランド州スートランド)

(イ) SCAP 文書……増井誠「ここ掘れ日本占領秘史」(『諸君』52 年 12 月号, p. 228~237)

(ロ) 「新聞・映画・放送部 1946 年 11 月 25 日月例業務報告書 付録 I」(江藤淳「1946 年憲法一その拘束」『諸君』1980 年 8 月号, p. 23~24)

(ハ) Gray File……グレイ・ファイルは 2000 ページから成り, 1942~47 の日本細菌戦に関する資料である。

(69) ワシントン国立公文書館

(イ) 「帰化原簿」中にジョセフ記録 (1856.6.30) がある。

(ロ) 日米修好通商条約の原本がある。

(ハ) 「支那事変ニ於ケル化学戦例証集」(栗屋憲太郎・藤原彰「支那事変ニ於ケル化学戦例証集」『歴史と人物増刊〔証言・太平洋戦争〕』59 年 9 月, p. 354~372)

(ニ) ノッター・ペーパーズ……ハーリー・ノッターの領土問題文書である。(坂本義和, R・E・ウード編『日本占領の研究』1987.2, p. 513~)

(70) ワズワース図書館

『職人尽絵』がある。

C. カナダ

(1) モントリオール美術館

ジョージ・クレマンソーコレクションの中に香合 3000 点がある。(蓑豊「カナダで新発見された香合」『別冊太陽海外へ流出した秘宝』1977.11, p. 172)

C. ブラジル

(1) ブラジル日本移民史料館 (サンパウロ) 『歴史公論』5 巻 1 号, 1979, 1 月, p. 157 のグラビアを参照されたい。

D. アルゼンチン

(1) 州立歴史古文書館 (コルドバ) 1596.7.16 付の「公正証書」によると, 「日本人奴隷フランシスコを 800 ペソで売却」とある。(井沢実『大航海時代夜話』)

E. メキシコ

(1) クエルナバカ大司教座教会 1597.2.5 処刑された長崎二十六聖人壁画がある。

(2) 国立総合文書館 Archivo General de la Nación

1613 年度のイエズス会日本年報がある。(五野井隆史「イエズス会日本年報について」『キリシタン研究』第十八輯, p. 317) また支倉六右衛門署名の Ramo Civil 文書がある。(佐久間正「在メキシコ支倉常長関係文書」『清泉女子大学紀要 13』)

(3) 国立図書館

「遣欧使節対話録」De Missione Legatorum Iaponensium, 1590, マカオがある。

(4) フランシスコ会修道院文庫 Biblioteca de Convento de San Francisco

フランシスコ会士日本派遣文書 (1596~97) が残されている。

F. ペルー

(1) 天野博物館 Museo Amano (リマ) 天野芳太郎氏のコレクションで知られる。

G. アフリカ

(1) キャッスル The Castle of Good Hope (ケープタウン)

William Fehr コレクション中に伊万里焼の大壺 2 点がある。

(2) ケープ州知事公邸

ここにもイマリがある。

(3) プレトリア大学 (南アフリカ)

パン・ティルバーグ・コレクション中にイマリがある。

(4) 南アフリカ文化歴史美術館 (ケープタウ

ン)

柿右衛門の人形・大壺があり、VOC のマーク入りである。

(5) ハラレ文書館 (ジンバブエ)

(イ) 1593 年 (文禄二年) サント・アルベルト号の遭難記録がある。交趾からリスボン間の航海中で、1593 年 5 月 11 日、日本人奴隷 1 人が置き去りにされたとある。

(ロ) 1897 年のソールズベリー (現ハラレ) さいしょの人口調査では、4 人の日本人 (フクイ、トンプソン夫人、ハタケヤマ、オサヨ) が見出される。 (『アフリカに渡った日本人』、『毎日新聞』1983.4.26.27 夕刊)

H. オーストラリア

(1) 国立公文書館

極東国際軍事法廷のウェッブ裁判長の覚書類を保存している。

(2) 戦争博物館 (キャンベラ)

シドニー港奇襲特殊潜航艇、軍刀、千人針、泰緬鉄道強制労働資料がある。

(3) タスマニア州立図書館、古文書館 (ホバート市)

1850 年 4.16 のイーモント号事件資料として、W・H・ラベット船長の『遭難船イーモント号乗組員投獄記』がある。 (遠藤雅子『謎の異国船』p. 144 ~153)

(4) National Gallery of Victoria (メルボルン)

「唐船之図」に「祐見」という朱印がみえる。 (大庭脩『江戸時代における中国文化受容の研究』、同朋社、p. 507)

I. ソビエト

(1) ウラジオストク沿海州郷土博物館

ギリヤーク・カラフトアイヌ・ゴリド関係のピウスツキ収集資料 353 点がある。

(2) オルジュニキーゼ市立博物館

日露戦争の戦利品を所蔵する。

(3) 国立クリム地方文書館

B・C・ポポフ (エカテリーナ 2 世の官房長官) 関係文書の中に『ラクスマン日本紀行』 (写本) がある。

(4) サハリン州立郷土博物館 (ユジノサハリンスク)

ピススツキ収集のギリヤークの丸木船・家模型・アイヌの弓・靴 (革製)・容器 20 点がある。そのほか木製網針 (あばり) や糸巻き、鉄製矢じりもある。

(5) 十月革命史料館 (モスクワ、ツガオル)

明治 24 年 5 月 11 日の大連事件で知られる皇帝ニコライ二世の日記が 51 冊あり、14 歳の 1882 年から 50 歳の 1918 年にわたっている。

(6) ソビエト科学アカデミー図書館 (レニングラード)

『クリル諸島誌』 (帝室科学アカデミー発行『歴史・地理カレンダー、1785 年度』) (村山七郎『クリル諸島の文献学的研究』三一書房、1987、p. 147 ~171)

(7) ソビエト科学アカデミー動物博物館

1853 年パルラダ号で来航し、さいしょの箱館領事となったゴシケヴィチのコレクションがある。

(8) ソビエト科学アカデミー東洋学研究所 (レニングラード)

1. アイヌ、2. 日本、3. 宮古、4. 琉球、5. 八重山その他中国・朝鮮・西藏などから成るニコライネフスキー資料がある。また「古文書部」にはゴンザ・ボグダーノフの『露日語彙集』 (1736)、『日本語会話入門』 (1736) 『項目別露和辞典』、『簡略文法』 (1738)、『友好会話手本集』 (1739) もある。『新スラヴ日本語辞典』は 1985 年はじめて刊本となった。(写本はゲッティング大学図書館にある。) その他『節用集』、浄瑠璃本 (12 冊)、大黒屋光太夫の『日本及び日本貿易に就いて、また日本列島の最新なる歴史的地理的記述』 (1817)、クンストカーメラ旧蔵の『ペテルブルグ風景』 (18 世紀) も存在する。(高野明「十八世紀の日本工芸品ペテルブルグ風景」『日本歴史』213 号、1966.2)

(9) ソ連邦中央国立文学・芸術文書館 ЦГАЛИ Г・В・ЮДИН 蒐集文書中に、『ラクママン日誌』 (写本) がある。これはクラスノヤールスクの地方文書館の旧蔵で、1950 年プリオブラジエンスキイにより発見された。(郡山良光「クラスマン日誌の日付」『日本歴史』358、1978.3)

(10) チューホフ博物館 (ヤルタ)

『桜の園』『三人姉妹』など晩年の作品はヤルタで書かれたが、チューホフによると香水などを売る日本人の店があったらしい。「その日の朝、停車場で、非常に大きな文字を並べたポスターが目に入ったのだ。『芸者』の初演だという」(『犬を連れだ奥さん』, 小笠原豊樹訳, 新潮文庫, p. 121)

(11) 中央国立軍事史アルヒーフ

日露戦争関係史料がある。(ロストーノフ編『ソ連から見た日露戦争関係史料』第2章注, 原書房, 1980)

(12) 中央国立レニングラード歴史文書館

Н・П・Дятрова 発見の『ラクスマン日誌』(写本)がある。

(13) モスクワ国立中央古文書館

1720年1月に書かれた伝兵衛の『日本にかんする報告書』(ロシア語)がある。「万九ひち屋、たにまちとほり、立半ん? にすむ、伝兵衛」とある。(高野明『日本とロシア』p. 54)

(14) ハバロフスク市歴史資料館

『日本新聞』第1号~600号(1949.7.15)の8冊合本がある。(澤地久枝「ソ連で幻の『日本新聞』を読む」『朝日新聞』1987.7.23, 夕刊による)

(15) メドヴェージェ図書館 Село Медведь

日露戦争の捕虜の写真, 扇子, 絵葉書などがある。(才神時雄『メドヴェージェ村の日本人墓標』p. 7~)

(16) レニングラード大学

有栖川宮文庫と, 江戸時代の刊本や写本 400 冊を所蔵している。

(17) レニングラード図書館

1595年天草で刊行された『ラ・ポ・日対訳辞書』Dictionarium Latino Lusitanicum ac Iaponicumがあり, アーネスト・サトウによって紹介されている。(中山一郎「和魯通言比考」『早稲田大学図書館紀要』第5号, 昭38.12月, p. 19) 1937年岩井大慧氏は北京北堂ラザリスト教会付属図書館でこの辞典2冊を発見したそうであるが, 今日所在は明らかでない。(村山七郎「レニングラードの拉葡日辞典」『順天堂大学体育学部紀要』第8号, p. 138~189, 一本学北均助教授の御教示による)

(18) レニングラード歴史研究所

1792~93年, 8か月の間根室に滞在したロフツォフの『日誌』(134丁)がウォロンツォフ商務大臣文書中にある。1792年4月11日に壊血病で死んだロシア水兵セミョン・マレティンの木碑拓本は今泉家が所蔵し, 日本最古のロシア語文書である。

(19) レーニン図書館 (モスクワ)

『日葡辞書』が存在する。(村山七郎『ソ連における日葡辞書の存在』『国語国文』34巻3号, 1965.3月)

(20) ロシア外交文書館 АВРР

Э・Я・файнберг 発見の『ラクスマン日誌』(写本)が所蔵されている。

[補遺 A]

(イ) イギリス

(1) グラスゴー大付属ハンティリン美術館

日本美術に影響を受けたホイスラー(1834~1903)の作品が多い。1872~75の「ノクターン: 青と金-オールド・バターシー・ブリッジ」は広重の「両国橋」の影響があるといわれる。(『ホイスラー展図録』1987.9.24~10.6, 伊勢丹美術館)

(2) スワージー市金属博物館

江戸時代の銅製鍊関係資料がある。そのうち半数は仙台市青葉山金属博物館に永久借用のかたちで寄託されている。(藤森正路「帰って来た荒銅」『住商ニュース』No. 88, 山本七平『経営的人間学』p. 202)

(3) プリンストン大学付属美術館

鉄舟徳済の『蘭竹図』(室町時代)がある。(『在外日本至宝3 水墨画』p. 113, 図6)

(ロ) イタリア

(1) イエズス会古文書館 (ローマ) Archivum Historicum Societatis Iesus Romae

天正八年(1580)四月廿七日付大村純忠父子の茂木・長崎寄進文書がある。(安野真幸「教会領寄進文書の研究」『史学雑誌』85編第1号『昭51』, p. 38~56)

(2) マルチアナ国立図書館 (ベネチア)

『さんとすの御作業』の巻第一・第二の合本と『キリスト教幼童訓』がある。(家入敏光「きりしたん

版『サントスの御作業』二本』『ビブリア』No. 76, 昭 56.4, p. 130～)

(ハ) オランダ

(1) オラニエナッソウ家財産管理財団

オランダ王室のコレクションの中に、ウイレム 5 世, 同夫人の蒔絵額がある。

(2) カサレインコンペント国立博物館 (ウト レヒト)

『聖母子画蒔絵螺鈿聖龕』がある。

(3) プリンス・ヘッドリック海軍博物館 (ロ ッテルダム)

川原慶賀筆『長崎港図』, 1797.10.2 のカンペ ルダイ ン海戦図蒔絵螺鈿筆笥がある。(『シ ーボルトと日本展図録』p. 44, 55, 1988. 6～11 月, 東京国立博物館)

(4) フロニンヘン古美術博物館

芥子粉入れ mostert pot, 卓上芥子粉入れ mos- tert potje などの磁器がある。(山脇悌二 郎『長崎のオランダ商館』p. 19)

(5) ロー王宮 (国立博物館) Paleis Het Loo (ヘルデルランド州, アペルドールン)

明治期に輸出された「金唐紙」がある。(小泉和 子「金唐紙」『日本歴史』1988.1 月, 476 号, p. 44)

(ニ) デンマーク

(1) コペンハーゲン王立図書館 Kongelige Bibliotek, Copenhagen

『キリスト教幼童訓』がある。(前掲『ビブリア』 76 号, p. 137)

(ホ) ドイツ

(1) ツェペリン城 (南ドイツ)

シーボルト・コレクションの『カラフト図』と 刀 (小柄) がある。

(2) ドレスデン国立民族学博物館 (東ドイツ アイヌ資料を所蔵する。

(3) 西ベルリン国立図書館

山崎宗鑑自筆の『俳諧連歌』がある。(沢井耐三 『連歌俳諧研究』56 号, 翻字)

(4) 西ベルリン民族学博物館

『今宮祭 (西陣) 絵巻』が発見されている。(『京 都新聞』1988.1.4)

(5) ボツホム大学東亜学研究所

シーボルトの日記がある。(石山禎「ライデン国 立腊葉館の歴史とシーボルト・コレクション」『鎖 国日本と国際交流』下巻, p. 277, 282)

(6) ライプチヒ図書館

『紙漉重宝記』(1798) の 1935 年刊本がある。

(ヘ) フランス

(1) 国防省陸軍資料館 (パリ郊外)

「シャノワンヌ・ファイル」中に, 「列藩同盟の フランス軍事顧問団あて招聘状」がある。またブ リューネの「報告書」や「スケッチブック」があ る。(『函館の幕末・維新一フランス士官ブリュネ のスケッチ 100 枚』中央公論社, 1988.6 月)

(2) サンシール市国立資料館 (パリ郊外)

ナダールの写真資料がネガ (ガラス 湿板) の形 で存在する。元治元年横浜鎖港交渉使節に同行し た女性の写真が 5 枚 (すみ……3 枚, 氏名不詳 2 枚) を含む。(『朝日新聞』1988.2.6 夕刊の記事に よる)

(3) ナンシー森林高等学校 (パリの東)

ガレに影響を与えたといわれる高島北海の資料 があり, 卒業記念写真, 植物写生画, 細密画を含 む。

(4) パリ海洋博物館

フランスの探検家ラ・ペルーズ La Pérouse (1787 年宗谷海峡を通過) の肖像がある。(小林忠 雄編訳『ラペルーズ世界周航記, 日本近海編』p. 11)

(ト) ポーランド

(1) タトラ博物館

ピウスツキのアイヌ関係資料を所蔵する。(先川 信一郎『ロウ管の歌』北海道新聞社, 1987, p. 119) [補注 B]

リスボンのポルトガル国立図書館所蔵の日本屏 風から 35 点の文書が発見され, 天正十三年ごろの 堺の安威家関係のものとされた。(中村質「豊臣家 臣団とキリシタン」『史淵 124, 『史学雑誌』第 97 編第 5 号, p. 97, 115 による。ただし未見)

[補注 C]

生麦事件の被害者リチャードソンに関係あるマ ックリー家 (MacLear) の記録などがイギリスの Public Record Office で発見され, 英国側からみた生麦事

件の研究が進んだ。(宮沢真一『薩摩とイギリスの出会い』高城書房出版)

〔補注 D〕

ベルリンにある国立東洋美術館 Museum für Ostasiatische Kunst が所蔵する浮世絵のうち、『河内木綿製織図巻』、『漁業図巻』、『宝尽図鑑』など 10 点の肉筆画、版画、摺物を含む 149 点が里帰りして、1988 年 9 月 1 日～6 日上野松坂屋で展覧された。(同展『図録』参照) 同館は西ベルリン南西部のダーレム Dahlem 地区にあり、1899 年アルトゥール・フォン・グヴィナー Arthur von Gwinner (1856～1931) の寄贈をきっかけとして、7000 点が所蔵されている。

〔補注 E〕

アイルランドの Chester Beatty Library には、奈良絵本や絵巻物が 200 余点あることは有名であるが、1988 年 9～10 月東京赤坂のサントリー美術館で里帰り展が開かれた。その中に『佐渡金山図巻』があり、明治初期来日した英国冶金学者ゴランド旧蔵品を 1950 年にビーティー氏が購入したことが明らかにされた。また『都鄙図巻』と 1001 年のロコーラン写本』(イブン・アル・バアワーズ書写) は日本で修復された。(同展図録『日本の物語絵、アイルランド・チェスター・ビーティー・コレクション』による)

〔補注 F〕

オーストラリアのキャンベラにある公文書保存館に第二次世界大戦中のジャワ島における捕虜収容所の生活をえがいた日本製のフィルムが最近発見されている。

〔補注 G〕

イギリスのキュー植物園には日本の野バラの標本が保存されている。幕末から明治にかけて輸出されていたらしい。また 1859～60 年長崎・箱館の領事であったホジソンの集めた植物の標本も存在する。

〔補注 H〕

フランスの陸軍資料館にあるブリュネのスケッチについては、C・ポラック他の『函館の幕末・維新—フランス士官ブリュネのスケッチ 100 枚』(中央公論社)にまとめられた。

〔補注 I〕

ウィーンにあるオーストリア工芸美術博物館 Österreich Museum für Angewandte Kunst には、明治 6 年の万博に参加した日本の品々がある。また民族学博物館にはフェルディナント皇太子の訪日持ち帰り品もある。

〔補注 J〕

ケンブリッジ大学図書館にあるアストン文庫は、ほとんどがアーネスト・サトウから譲られたものといわれるが、その総目録編纂を 1985 年以来東横学園女子短期大学の林望氏が続けられている。(林望「アーネスト・サトウとの対話」『中央公論』1988, 10 月号, p. 43～45)

〔補注 K〕

ライデン国立民族学博物館には、河鍋暁斎の『米国使節海来之図』や『郵便配達夫』などのコレクションがある。暁斎の作品はこのほか大英博物館、ヴィクトリア・アルバート美術館、パリのギメ美術館、シュトゥットガルト・リンデン美術館のベルツ・コレクション、アメリカのメトロポリタン美術館、ボストン美術館、ピーボディー美術館、フリーア・ギャラリー等に存在している。また個人としては、ハンブルクのゲルハルト・シャック氏 (Gerhard Schack) やハーグの某夫人が所蔵する。(山口静一、及川茂編『河鍋暁斎戯画集』, 岩波文庫, 1988, 8 月)

〔補注 L〕 アムステルダムのゴッホ美術館には、広重『石薬師』など浮世絵 400 枚があり、またブリュッセル郊外のレオポルド 2 世がつくったラーケン Laeken の王宮 Chateau Royal は五重塔および王宮内に浮世絵風の壁画があるという。(NHK テレビ特集「美しきニッポンの夢・ゴッホ・浮世絵の秘密」, 1988.9.11 による) なお五重塔は日本館となっていて、17～19 世紀の中国・日本の陶器が並べられている中国館とともに 1900 年のパリ万博のさい移されたものという。

〔補注 M〕

オランダのグローニンゲン (Groningen) にタバコと船の博物館 Niemeyer Tabacologisch Museum があり、『長崎港掛軸』(18 世紀)があるという。(『地球の歩き方, オランダ・ベルギー・

ルクセンブルグ』ダイヤモンド社, p. 100)

〔補注 N〕

雑誌『新潮』に「蠣崎波響の生涯」を連載中の中村真一郎氏によると、フランスのグルノーブル美術館に波響の画いたアイヌ酋長たちの絵 (11 枚) があり、五稜郭にいたフランス士官が持ち帰ったものと推定している。(『波』1988.9 月号, 新潮社, p. 54) 先にのべたブザンソン市立博物館所蔵のものとの関連が問題となろう。

〔補注 O〕 オーストラリアのニューサウスウェルズ州立図書館 (シドニー) には、1831 年 (天保二年) 厚岸に接岸したレディ・ロウェナ号の船長ラッセルの書簡 (遠藤雅子『謎の異国船』p. 75~79, 1831.4.15 付) や航海日記、遺品それに厚岸海岸をえがいたスケッチがある。

(J) 朝鮮

(1) 安重根義士記念館 (ソウル, 南山公園)

宮城県栗原郡若柳町の千葉家で、「為国献身軍人本分」と書かれた遺墨が発見されている。千葉家は看守千葉十七 (とうしち) 上等兵の実家である。(1983 年 4 月 8 日朝日夕刊)

(2) 国立中央図書館

『寛永朝鮮人来朝図巻』がある。

(3) 国立中央博物館 (ソウル)

(イ) 1909 年購入した二十四曲, 27 m におよぶ『朝鮮通信使大絵巻』がある。

(ロ) 『東萊府使と日本諸公の親密な宴会図』には鄭謙齊の署名があり、18 世紀のものといわれる。

(ハ) 『丙子信使韓国使臣入皇城行絵巻』(1 巻) がある。

(ニ) 狩野常信の『趙泰億像』(1 幅) を所蔵する。

(4) 昌徳宮宝物収蔵庫 (ソウル)

朝鮮通信使が贈った屏風絵 21 点があり、狩野派の栄信等の作という。

(5) ソウル大学校中央図書館

(イ) 『圭章閣図書』, 1623~1910 年にわたる『承政院日記』, 1760~1910 年にわたる『日省録』など近代以前からの外交史料が多い。

(ロ) 旧韓国外交文書は、清・日・英・スイス・

米・独・仏・露・伊などの関係資料である。(森山茂徳「近代日韓関係史研究の動向と史料及び文献」, 『国家学会雑誌』第 88 巻 11, 12 号)

(6) 大韓民国陸軍士官学校軍事博物館

『東萊府殉節図』がある。(北島万次『朝鮮日々記・高麗日記』p. 14)

7) 朝鮮中央歴史博物館 (ピョンヤン)

「広開土王碑」の複製が展示されている。

(8) 徳寿宮美術館 (ソウル)

広隆寺のものときわめてよく似た『金銅弥勒思惟像』がある。

(9) 釜山市立図書館

明治政府の対朝鮮開国外交文書集である『朝鮮事務書』(29 巻) がある。

(付記) 朝鮮の典籍については、逆に日本国内に相当数のものがあることに留意しなければならない。沈喁俊『日本訪書志』(精神文化研究院刊) によると、内閣文庫、書陵部、蓬左文庫の 79 種をはじめとして 464 種、4942 冊におよぶという。(『月刊文化財発掘出土情報』1988.10, p. 194)

(K) 中国

中華人民共和国, 台湾, 香港, マカオを含めてのべることにする。

(1) 鑑真記念堂 (江蘇省揚州市法浄寺内)

唐招提寺金堂を模してつくられた記念堂がある。

(2) 香港美術館

チャールズ・ワーグマンの作品 3 点を所蔵する。

(3) 上海博物館

『豊臣行長印章』(銅印) がある。(新関欽哉『ハシコノ文化史』p. 175) また表面に「狩野縫殿助金門画史」, その下に「藤原永岳」とある方形染付があり、嘉慶年間の日中交流を推定されるものとされている。(1988.3.14 朝日) これは 3 月 11 日~23 日銀座松屋で開かれた『上海博物館所蔵青花磁器展』で展示された。

(4) 台南歴史館

『台湾古地図』(1722) を所蔵する。

(5) 台湾省文献委員会 (台中市)

旧台湾総督府記録を 35000 冊所蔵するといわれ、明治 28~昭和 20 年の文書 13855 冊を含む。

(6) 台湾大学図書館

(イ) 特別資料室に横本の『曾根崎心中』がある。(鳥居フミ子論文、『実践女子大学紀要第15集』)

(ロ) 藤田豊八・坂口昂・久保得二・大島富士太郎旧蔵書がある。

(ハ) 完本に近い『歴代宝案』がある。

(ニ) 桃本文庫は『日本書紀』5種を含む。

また金子和正による『台湾大学図書館所蔵国書目録抄』がある。

(7) 故宮博物院 (台湾)

楊守敬コレクション中には古写本、古版本、宋・元古版本を含む。(川瀬一馬「明治維新以来の和漢書集散について」、『書誌学』復刊新35, 36号, p. 10)

(8) 中央研究院 (台北県南港)

(イ) 1864～1910年の朝鮮関係文書

(ロ) 1900～1920年の義和団関係文書

(ハ) 1912～1923年の中日交渉文書

(ニ) 1921～23年の華府(ワシントン)会議関係文書がある。

(9) 北京歴史博物館

梁の元帝が画かせた百済と倭の朝貢使の図である『梁職貢図』(ただし宋代の模本)がある。

(10) 七三一部隊罪証陳列館 (ハルビン市平房地区)

野村章「七三一部隊罪証陳列館を訪れて」による。(『歴史評論』1986.4月, No. 432, p. 49～)

(11) 天一閣 (寧波)

ここは明代に創建された図書館である。寧波文史資料第二輯には「寧波的鼠疫惨禍」, 1940, 10. 27をのせる。(柳田節子『歴史評論』1986, 4月, No. 432, p. 54～)

(12) 北堂文庫 (北京)

キリシタン版の所蔵で知られる。『精神修養の提要』(1596), 『金言集』(1603), 『 sacrament 提要』(1605, 3部), 『遣欧使節対話録』(1590), 『拉葡日対記辞典』(1595)がある。

(13) マカオ市会文書館

1611～1898年文書のうちに, 1630～1685年の日本関係文書を含む。

(14) ルイス・カモンエシュ博物館

(イ) 1610年長崎で沈んだノッサ・セニョーラ・ダ・グラサ号の遺物である弾丸1こが1934年発見され, 保管されている。

(ロ) 『長崎二十六聖人殉教図』がある。

(補注1) 韓国慶尚北道蔚珍(ウルチン)郡の水田から新羅時代の六世紀初頭の古碑が発見された。このあたりは朝鮮系渡来氏族である秦氏の出身地で, 日本古代史の資料としても重要であると考えられる。(『月刊文化財発掘出土情報』1988, 8月号, p. 155)

(補注2) 1988年9月23日から上野国立西洋美術館で「ジャポニスム展」が開かれている。マネの『鼓笛隊の少年兵』も展示作品の一つであるが, 同展カタログ(フランス版, p. 177)によれば, この絵の成立の背後には浮世絵があり, 二代歌川国明の版画『大鳴戸瀬右衛門』であるという。(前州誠郎「ジャポニスム」, 岩波書店『図書』10月号, p. 12～)

(補注3) 1962年3月, 横浜の有隣堂ギャラリーで北京大学図書館の所蔵する『古籍挿絵本選展』があり, 『三国志』や『西遊記』等の原本も展示された。(同展『図録』参照)

(補注4) 1988年9月, アメリカのロサンゼルス・カウンティ美術館に日本美術専用の『心遠館』が開館した。ジョー・プライス氏のコレクションは江戸時代の日本絵画300余点から成り, とくに伊藤若沖の『紫陽花双鶏図』などが知られている。

おわりに

以上1988年10月までの知見をまとめた。きわめて不完全なものであり, 今後の補訂を必要とすることもちろんである。

[追記]

(1) オランダの国立ライデン民族学博物館には, 森春溪の『蟹虫図帳』と川原慶賀の『ツルの図』がある。(『江戸の動植物図』朝日新聞社編, 1988年10月, p. 52～53, p. 160) なお前者は『シーボルトと日本』展(1988)図録, p. 161～162にもほぼ同じ部分をのせている。また『江戸の動植物図』にはアメリカの心遠館にある伊藤若沖の『鳥

『獣図展風』がある。(p. 46)

(2) ロンドンのコートールド・インスティテュート・ギャラリーには佐藤虎清の『風景のなかの芸者』が、フランスのサン・ジェルマン・アン・レの県立プリウレ美術館には、ピエール・ボナール『兎のいる屏風』が、ランス美術館には、ユーグ・クラフトのアルバムがある。(以上 NHK 取材班『ゴッホが愛した浮世絵』による)。

(3) 五野井隆史氏によると、インドシナ半島のトンキンにいた日本女性通詞ウルスラ関係の史料がリスボン市のアジュダ図書館の所蔵する「ジェズイタス・ナ・アジア *Jesuitas na Asia*」文書中にあるという。(『トンキンの日本人女通詞ウルスラについて』『日本歴史』1988 年 11 月号(第 486 号), p. 89~92)

(4) 真珠湾攻撃関係資料と思われる「東方海面水路資料」が藤代真苗氏により、ワシントンのアメリカ議会図書館で発見された。(『東京新聞』1988.8.15, 『歴史読本』1988 年 12 月号, p. 314)

(5) 1988 年 5 月~8 月、パリで「ジャポニスム Japonisme」展があり、その後で 9 月から東京の国立西洋美術館でも「ジャポニスム」展が開かれた。以下同展図録によるおもなものを並べる。

(イ) 染色美術館(フランス, ミルユーズ)

一養亭芳瀧の『中無ら芝雀』, 『初世市川右団次の中山那徒忠光』, 『四世嵐璃寛の竜虎之助』, 歌川芳隆の『初世市川右団次の久まつ』

(ロ) エマニエル・ラニエ美術館(ロッシュ)

二代歌川広重の『江戸名勝図絵御茶の水』, 二代広重, 歌川国貞他の『江戸之花名勝絵』

(ハ) 装飾美術館(パリ)

『花卉七宝鐔』, 『松図鐔』など。

(ニ) セルヌッシ美術館(パリ)

『菊花文黒楽茶碗』がある。

(ホ) ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館(ロンドン)

有田香蘭社の『染付大皿』(1875)がある。

(ヘ) 大英博物館

宮川香山の『立葵大花瓶』がある。

(ト) パリ国立古文書館

1889 年の万国博に出品されたシャルル・ガルニ

エの『日本の家』(水彩)がある。

(チ) G. リコルディ社歴史資料館(ミラノ)

マスカーニのオペラ『イリス』に関係のある『日本の操り人形の舞台』(水彩)など。

(リ) オルセ美術館(パリ)

マネの『エミール・ゾラの肖像』(1868 年)や展覧会の入場券に採用された『笛を吹く少年』がある。

(ヌ) ギュスターヴ・モロ美術館(パリ)

モローの『歌舞伎役者-日本の画帖からの模写』, 『歌舞伎の女形二人-日本の画帖からの模写』はいずれも 1869 年の水彩画である。

(ル) 絵画彫刻美術館(グルノーブル)

アンリ・ファンタン・ラトゥールの『豊国にもとづく素描』がある。

(ヲ) オルビニー・ベルノン美術館(ラ・ロシェル)

北斎の『北斎漫画第七編』, 『北斎画譜上編』, 『富嶽百景第三編』, 歌川国芳の『風俗大雑書全』, 玉川調布作歌川芳虎画『濡燕稲妻物語』などがある。

(ワ) ストラズブールの近代美術館には、パリ展にのみ出品されたオーストリアのグスタフ・クリムトの『成就』がある。(『芸術新潮』1988 年 11 月号, p. 19)

(6) 国立アドリアン・デュブーシェ美術館(リモージュ)

アンリ・リュシアン・ランベールの『魚海老図皿』は「海老で鯛を釣る」という図柄で、ボストン美術館にあるモネの『日本娘』中の団扇がヒントであるという。(『芸術新潮』1988 年 11 月号, p. 12)

(7) ボストン美術館

昨年発見されたという狩野芳崖の『月梅』が山種美術館に里帰りした。(1988 年 10 月)『狩野芳崖展図録』(p. 60)にのせられている。

(8) 心遠館オープンを機に、レイモンド・ブッシェル・コレクションの根付 600 点が寄贈された。(前掲『芸術新潮』p. 90) [以上]

[追記] 『早稲田大学図書館紀要』第 26 号については、本学の玉井実助教授の御高配を得た。